

# 明神さま

宇都宮二荒山神社

🌻 奉祝 天皇陛下御即位三十年 🌻

〽 国も栄えて

民も豊かに

治まる御代の

ためしには

池のみぎわに

鶴と亀

よろづ代までも

限りなき

千代も経ぬべし

姫小松

君の恵みぞ

ありがたや





# 特集 宇都宮と戊辰戦争

## ―戊辰戦争のあらまし―

慶応3年（1867）10月15日、大政奉還が成立し激動の時代が始まります。江戸幕府十五代将軍徳川慶喜が政権を朝廷に返還し、政治は朝廷が行うことになりましたが、政権のみならず領地も返還するよう命じられたため、幕府は反抗し、薩摩藩や長州藩などの新政府軍との間で戦争が勃発しました。（鳥羽・伏見の戦い）

この戦いに徳川慶喜は大敗したため、幕臣の勝海舟を通じて西郷隆盛と交渉したところ、江戸城を退去して水戸へ謹慎するよう命じられたうえ、江戸城だけでなく軍艦や兵器なども没収されることになりました。

幕臣たちの中にはこのような命令に従う徳川慶喜に不満を持つ者も多く、歩兵奉行だった大鳥圭介は精鋭部隊を引き連れて日光東照宮を目指し脱走します。

また、京都守護職を務めた会津藩主の松平容保は朝敵の汚名を受けていましたが、これは偽りの勅命であるとして、越後や奥州の諸藩は連合して新政府軍に對抗しようとしたため、江戸と会津の間にある下野国が戦場になり、多くの被害を受けることになりました。

明治元年（1868）9月22日には、会津若松城がついに落城。越後や奥州の諸藩も降伏し、戦場はさらに北へと移っていききました。

## ―宇都宮城の戦い―

大鳥圭介とともに江戸を脱走した部隊は、途中で本隊と別動隊に分かれてまず宇都宮城を目指します。この時すでに宇都宮藩は新政府側につくことを決定していました。

約二千名の別動隊を率いる江上種明と土方歳三は、

松戸から水海道を経て下館、真岡へと進み、鬼怒川を渡って上三川にある満福寺に宿陣します。

慶応4年（1868）4月19日、旧幕府軍別動隊は宇都宮城下へと迫り、田川に架かる築瀬橋や下河原門で、宇都宮藩と衝突しました。

庶民たちは、この様子を二荒山神社から娯楽のように眺めていましたが、突然、飛来した砲弾が茶屋に命中したことで、自分たちが戦争に巻き込まれたことを悟り、散り散りになり、逃げ出したといわれています。

旧式装備の宇都宮藩は、最新鋭の装備と戦術を身につけた旧幕府軍の攻撃を防ぎきれず、後日の再戦を期して、姻戚の館林藩を頼って退却。

この際に二荒山神社は炎に包まれ社殿などは焼失しましたが、幸いにも、御神体や宝物は瓦谷村へ避難させていたため無事



▲「戊辰戦争宇都宮城攻防図」(部分) 光明寺所蔵 栃木県立博物館画像提供  
戊辰戦争における宇都宮城の攻防戦を俯瞰的に描いた絵巻である。

でした。それから4日後の4月23日に、今度は新政府軍による宇都宮城奪還戦が起こるので。

一進一退の攻防が続く中、大鳥圭介は新政府軍を牽制するため、新選組らを二荒山（明神山）へ向かわせています。

土方歳三ら多くの指揮官が負傷する中、新政府軍の攻撃を防ぎきれなくなった旧幕府軍は、ついに日光を目指して退却していききました。

## ―宇都宮の人々の心意気―

戦いの後、新政府軍兵士の遺体は官修墳墓として丁寧に葬られましたが、賊軍とされた旧幕府軍兵士の遺体は朽ち果てるまで放置するのが当時の慣わしでした。これを不憫に感じた宇都宮の人々は遺体を密かに埋葬し「賊神様」と呼んでそっと供養を続けてきたのです。

明治7年（1874）、明治政府から祭祀の許可が下りると六道ノ辻では「戊辰役戦士墓」が、現在の河原町付近では「彰義隊数士之墓」が建立され、かつての敵であっても同じく国のために戦った人々の霊を慰めています。

今年（2018）は明治改元150年に当たります。私たち「黄ぶな愉快プロジェクト」は、このような宇都宮に残る戊辰戦跡を巡る観光マップを作成しました。戊辰戦争に関する12か所のおすすめスポットの他、まち歩き途中に休憩もできるカフェやレストランを目印として、道順をわかりやすく掲載しています。

オリオン通りにあるアンテナショップ「宮カフェ」で、明治150年記念ミヤリー缶バッジの付録として頒布していますので、この機会にぜひご覧ください。

黄ぶな愉快プロジェクト 荒瀬友栄



### ①下河原門

『～下河原口は多く本藩の兵にして香川氏指揮せられ力を尽して拒き守れり。これより敵味互に鉄砲を発して相戦う。賊は尚進んで散兵を以て築瀬橋よりうんかの如く城門に迫り来る～』 戊辰日記 縣勇記  
付近の須賀神社が目印。

※門の画像はハメコミ合ってます



### ⑥光琳寺

鳥居を持つ新政府軍因州藩士の墓と旧幕府軍桑名藩士の墓が向かい合っている。長岡藩主 牧野忠敬公妻 路子夫人が詠んだ感動の碑文が胸を打つ  
『討つ人も 討たる人も もろともに 同じ御国の 為と思えば』



### ②常念寺

元々城内にあった彰義隊数士の墓が明治27年亀郭の建設に伴いこの寺内へ移された。実際の被葬者は第2次宇都宮城攻防戦時に付近で戦った御料兵と思われる。  
『数士姓名不祥戊辰夏戦死此地里人埋之今已七年為敵樹之何以得改恨在慰幽魂也』 一部は不確定



### ⑦報恩寺

戊辰薩藩戦死者墓は全国の薩摩藩宮修墓で特に美しい景観と評され、入り口に鳥居を持つ戦士烈士の墓の灯籠には中村半次郎(桐野利秋)や野津七次(道貫)の名が残る。禅寺らしい茅葺の山門や吾唯知足の池、北向甘酒地藏も見どころ。



### ③英巖寺

宇都宮藩主戸田家の墓所で、珍しい亀趺型の墓石は戸田忠恕公のもの。第1次宇都宮城攻防戦で旧幕府軍がこの寺に放火した際、幽閉されていた旧幕府主席老中板倉勝静、勝全親子を庫裏から救出した。本尊の釈迦如来は報恩寺に安置。



### ⑧一向寺

戊辰戦争や関東大震災など危難が迫ると汗をかいて知らせるといふ通称「汗かき阿弥陀」や、六道ノ辻の無縁仏など全ての御霊を供養する戊辰戦争慰霊碑、五却思惟のため髪が伸びてしまった姿の大谷石造阿弥陀如来坐像などがある。



### ④松ヶ峰門付近土塁

高さ5メートル程の土塁で、宇都宮城の数少ない現存する遺構。(他には旭町大銀杏の三ノ丸土塁跡のみ)  
流山で近藤勇を捕縛した有馬藤太も宇都宮入口付近の戦闘で重傷を負った。※土塁周辺は私有地のため見学の際は十分なお配慮をお願いします。



### ⑨六道ノ辻 戊辰役戦士墓

宇都宮藩士 戸田三男が、会津で捕えた長岡藩家老 山本帯刀から託された遺品を使い、有志の賛同を得て康碑した。  
『藩主、我に戦いを命ぜしも、未だ降伏を命ぜず』  
「これを貴藩に提供す。相当の費用に充てられんことを」  
戊辰戦争における敵方の墓でありながらも、地元の人達の温かい供養により、いつも美しい花が飾られている。毎年旧暦の4月23日に当たる日には墓前祭が行われる。形見として託された山本帯刀の佩刀は、長岡市に里帰りに中。



### ⑤松ヶ峰門

この一帯で激しい戦闘が行われた際、土方歳三は足指を負傷し、戦線を離脱した。  
『内藤隼人(土方歳三の変名)は小銃丸にて足を撃たれ、薄手とは云いながら歩行成り難く～』 戊辰ノ変夢之棧羽日記 塩谷敏郎



資料提供：黄ぶな愉快プロジェクト

## 宇都宮の戦いに登場する著名人

今回の特集のテーマ「宇都宮の戦い」には、誰もが知っている歴史上の人物が何人も登場しました。また郷土の著名人も、この戦いに深く関わっています。

そこで、これらの人物について簡単にご紹介しましょう。

### 土方歳三ひじかたとしぞう（1835～1869）

新選組の副長としてその名を広く知られている土方歳三は、豪農の子として生まれ、散薬の行商として歩きながら剣の修業にも打ち込んでいました。その後、終生の友となる近藤勇と出会い、文久3年（1863）に上洛。その夏に新選組が発足しました。京都の治安維持を役目とした新選組については、歴史書や歴史小説、映像作品などでさまざまに語り継がれています。新選組が解散し、局長の近藤勇が刑死した後も、土方は旧幕府軍のリーダーの一人として転戦を重ねましたが、ついに明治2年（1869）函館の五稜郭で戦死しました。

### 大鳥圭介おわとりけいすけ（1833～1911）

兵庫県赤穂の出身で、若い頃は医学や西洋の学問を学び、西洋兵学にも通じていました。のちに幕臣に取り立てられ、やがて歩兵奉行を拝命して幕府軍の最高幹部の一人になります。江戸開城の後には伝習隊を率いて戊辰戦争を転戦しますが五稜郭の戦いで捕らえられます。明治5年（1872）に特赦で出獄した後は明治新政府に仕えました。

### 江上種明えがみたねあき（1842～1885?）

会津藩の藩士で、旧幕府軍の伝習隊で活躍した人です。一般には「秋月登之助」の名前が知られています。文久2年（1862）12月、藩主・松平容保が京都守護職に任じられ上洛した際、身辺警護の一人として京都に赴きました。その後、慶応4年（1868）に旧幕府軍に加わり、宇都宮の戦いでは大鳥圭介が隊長をつとめる伝習隊の第一大隊を指揮しました。その後も旧幕府軍とともに転戦しました。母成峠の戦い（会津）以降の消息は伝わっていませんが、会津若松市の興徳寺にある江上家の墓所に「秋月登之助 明治18年1月6日 行年44才」と刻まれていますので、戊辰戦争を生き延びたものと思われる。

### 縣六石あがたりくせき（1824～1881）

縣六石は宇都宮藩の家老である安形家に生まれ、若い頃に剣術や勉強に励みました。やがて帰藩すると姓を「縣」に改名しました。数年後、父の死後に家督を弟に譲りますが、彼自身も藩主に仕えながら藩政改革に取り組み、藩の重鎮として藩政をリードしていきます。文久2年（1862）に起った坂下門外の変に宇都宮藩の人間も関わっていたことから藩は窮地に立ちますが、六石は天皇家の墓である山陵修復を發議し、藩の危機を救います。またこれにより朝廷からも好意的にみられるようになりました。

その後、元治元年（1864）に起きた水戸天狗党事件で、藩内に入った天狗党に対する処置を責められた六石はすべての職務を解かれ、謹慎させられます。慶応元年（1866）に許され、ふたたび藩政の重鎮として活躍しました。

宇都宮藩は戊辰戦争では新政府側につき、宇都宮の戦いで旧幕府軍と戦いましたが、これも六石の功績といわれています。その後家老となって藩政に尽くし、

明治以降は司法官僚として新政府のために働きました。明治9年（1876）には司法省大審院判事に命ぜられて退いて宇都宮に戻り、築瀬町に私塾を開きました。戊辰戦争で焼失した二荒山神社は仮社殿に祀られていましたが、明治10年（1877）に再建されました。その間の明治5年（1872）にいったん国幣中社の社格となりますが、翌年に県社に降格されてしまいました。宇都宮に戻った六石は氏子総代に推されたこともあり、社格復格のために奔走します。その時すでに六石は病身でしたが、故郷宇都宮のために力をふりしほり、内務省や徳川家、有栖川宮家などを幾度も訪れて社格復格を訴えました。六石は明治14年（1881）に亡くなりますが、彼をはじめとする運動により2年後の明治16年（1883）5月には国幣中社に復帰しました。

六石はしばしば改名しており、活躍時期によって名前が違っていますが、煩雑になるため六石で統一しました。諱は信輔のぶすけです。墓は宇都宮市内の慈光寺にあります。



▲2007年に復元された宇都宮城の富士見櫓

# 宇都宮のおまつり今昔

## 「田楽舞」 宇都宮市無形文化財

二荒山神社には、毎年5月15日の田舞祭と1月・12月のおたりや祭に「田楽舞」が奉納されます。  
田楽舞は豊作を祈る踊りとして平安時代に生まれ、全国各地で傳承されています。

当社では鎌倉時代頃から行われるようになったとされ、中期の文化年間の頃に再興されたようです。

昔から神社と縁の深い堀米地区（関堀町）の家々に傳承され、「堀米の田楽舞」として、宇都宮市の文化財に指定されており、栃木県内に現存する唯一の田楽舞として大変貴重です。

今号の表紙は、江戸時代に描かれた「祭礼図絵」をあしらったものです。



▲江戸時代の田楽舞の様子



▲年3回奉納される田楽舞 (宇都宮伝統文化連絡協議会「うつのみやの伝統文化」(随想舎)より)

巫女さんに聞いた!

## 二荒山神社のあれ?これ

### 二荒山神社の鳥居について

二荒山神社には、大通りに面して建つ大鳥居（両部鳥居）のほか摂社末社にも鳥居があります。お参りの際に形の違いなどを確認してみてください。

鳥居は神社の神域を示す一種の門です。左右2本の柱の上に笠木をわたして、その下に柱を連結する貫をいれたもので、神明鳥居を基本として、明神・山王・三輪・両部鳥居などの形式があります。

### 大鳥居の変遷



江戸時代



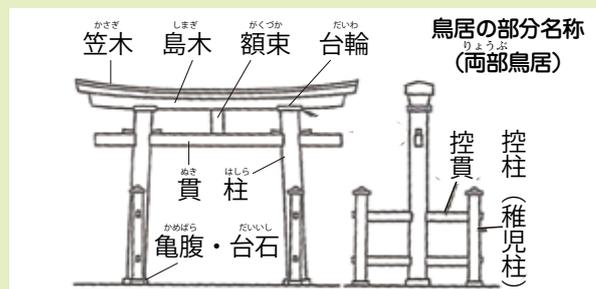
明治～昭和(戦前・戦中)



昭和(戦後)～平成



◀大鳥居  
形式：両部鳥居  
高さ：9.6メートル  
幅：12.8メートル  
用材：ケヤキ  
(樹齢約400年栃木県産材)  
平成20年10月建替え竣工



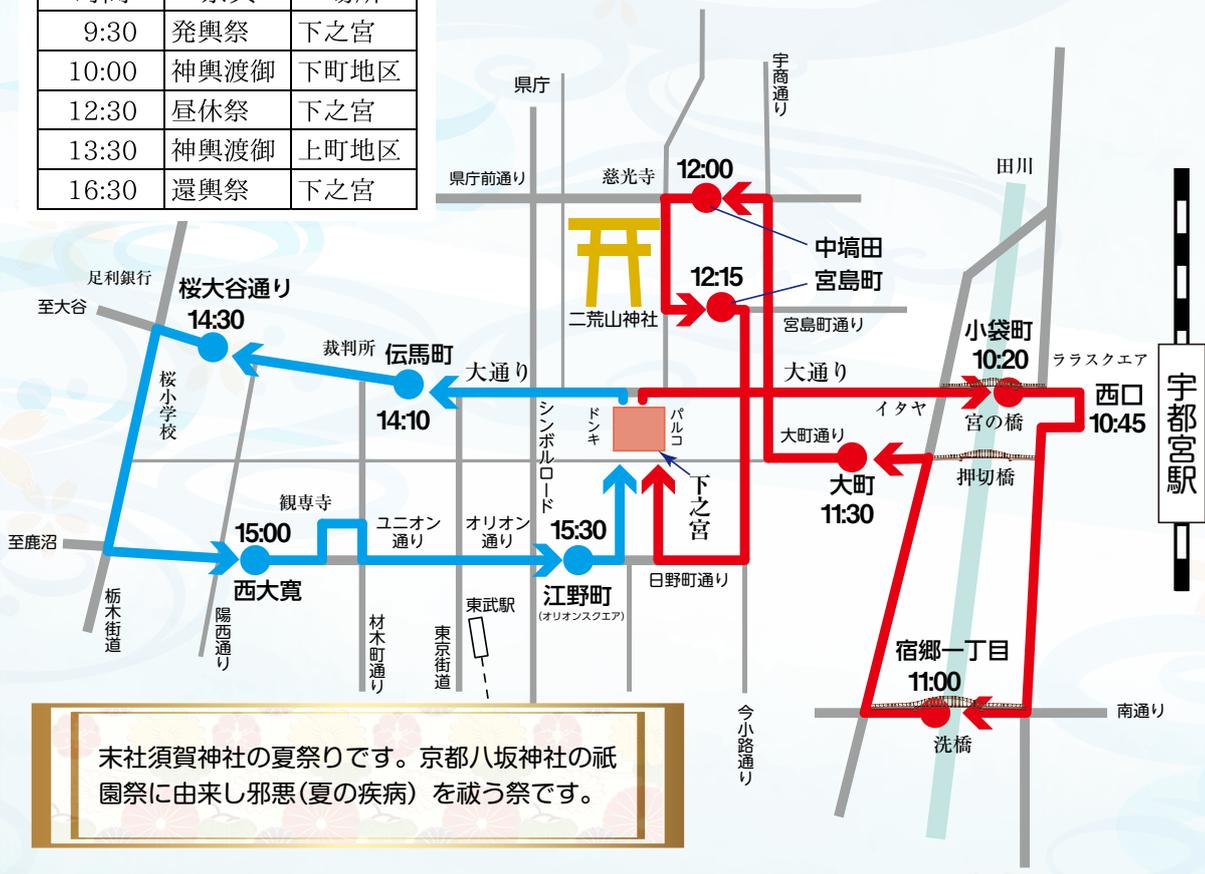
- 下之宮(摂社) 明神鳥居
- 初辰稲荷(末社) 稲荷鳥居
- 菅原神社(末社) 明神鳥居
- 松尾神社(末社) 神明鳥居
- 喜佐見分詞(塩谷町) 神明鳥居



# 七月 天王祭

7月14日(土) ~ 20日(金) 7日間  
 14日(土) 午後6時 親子神輿対面神事 (城址公園出発)  
 15日(日) 午前10時より 神輿渡御(下町地区) 午後1時半より 神輿渡御(上町地区)

| 時間    | 祭典   | 場所   |
|-------|------|------|
| 9:30  | 発輿祭  | 下之宮  |
| 10:00 | 神輿渡御 | 下町地区 |
| 12:30 | 昼休祭  | 下之宮  |
| 13:30 | 神輿渡御 | 上町地区 |
| 16:30 | 還輿祭  | 下之宮  |



末社須賀神社の夏祭りです。京都八坂神社の祇園祭に由来し邪悪(夏の疾病)を祓う祭です。

## しくお願い致します。

和みて 愉快だ 宇都宮



# 十月 菊水祭

27日(土) 下町渡御

江戸時代に神のご加護で火難を免れたことを感謝して賑わいの神事が行われ、以来例祭の付祭りとなりました。



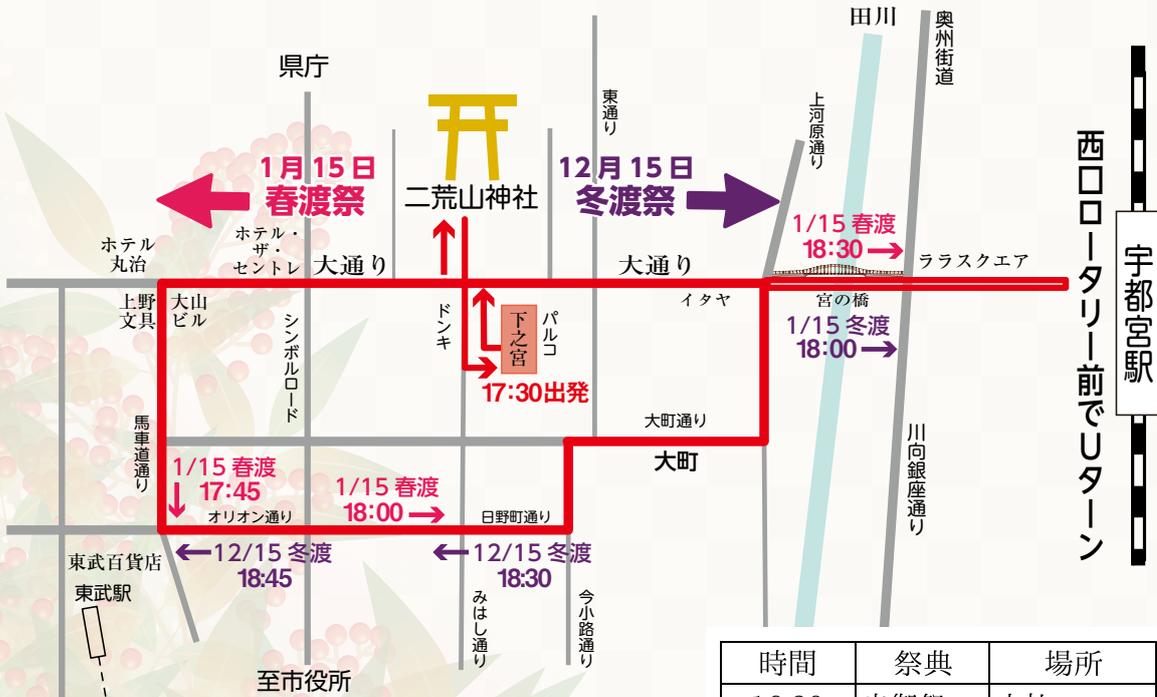
| 時間    | 祭典   | 場所    |
|-------|------|-------|
| 8:30  | 本社祭  | 本社    |
| 9:00  | 出御祭  | 大鳥居内  |
| 9:30  | 風輦渡御 | 下町北廻り |
| 12:00 | 昼休祭  | 石段下   |
| 13:00 | 風輦渡御 | 下町南廻り |
| 16:00 | 還御祭  | 本社    |

午前順路  
午後順路



# 冬渡祭・春渡祭

冬渡祭 平成30年12月15日(土)  
 春渡祭 平成31年1月15日(火)



| 時間    | 祭典   | 場所  |
|-------|------|-----|
| 16:30 | 出御祭  | 本社  |
| 17:00 | 御旅所祭 | 下之宮 |
| 17:30 | 神輿渡御 |     |
| 19:00 | 還御祭  | 本社  |

平安末期頃から春(1月) 冬(12月) の年2回行われる祭で、中世から神輿が巡幸し家内安全、無病息災を願います。

和みて  
愉快だ  
宇都宮

## 渡御のお出迎えよろ

| 時間    | 祭典   | 場所    |
|-------|------|-------|
| 8:30  | 本社祭  | 本社    |
| 9:00  | 出御祭  | 大鳥居内  |
| 9:30  | 風輦渡御 | 上町北廻り |
| 12:00 | 昼休祭  | 石段下   |
| 13:00 | 風輦渡御 | 上町南廻り |
| 16:00 | 還御祭  | 本社    |



28日(日) 上町渡御

**渡御とは…**  
 渡御は、神様が宿ったご神体や依り代を神輿に移して、市内を行列することです。当社の渡御は、上町と下町を二日間かけて、氏子様たちとともに歩きます。お手を合わせて拝んでお迎えください。

午前順路  
午後順路

流鏝馬神事 27日・28日両日、鳳輦出御前及び帰還後の2回行います。



花会祭



太々神楽



大祓式



田楽舞



幼稚園神輿



親子対面



太鼓神輿

天王祭

流鏝馬



鳳凰



菊水祭

# 祭礼記録

稚児舞



花市



初太鼓



初詣



節分



初辰稻荷祭



春渡祭



# 渡御祭礼協賛者芳名(敬称略)

- コーポレーション ● ホテル丸治 ● (株)アクティチャレンジ中村雄三 ● (有)宇都宮ガーデン ● 清水明 ● 松本功 ● (有)料亭明治屋 ● 大谷通り桜会 ● 谷田部峻 ● 谷田部石材販売 ● 松本スポーツ服装店 ● (株)佐藤 ● 画材額縁白木屋 ● 上野泰男 ● 大和証券(株)宇都宮支店 ● (株)常陽銀行宇都宮支店 ● 野村證券(株)宇都宮支店 ● 高山忠男 ● 玄賀旭 ● 下野印刷(株) ● (株)栃木銀行馬場町支店 ● (株)東邦銀行宇都宮支店 ● (株)東武ホテルマネジメント宇都宮東武ホテルグランデ ● (株)トイーホー ● 北関東 ● 昭和商事(株) ● (株)竹石ビル ● 宇都宮証券(株) ● 印出井歯科医院 ● 秋山塗工(株) ● (株)福田屋百貨店 ● (株)大湖 ● 大和食品(株) ● (株)福田機械店 ● (株)山本損保プロ保険サービス ● (株)歩行者 ● タイムズ24(株) ● S.M.B.C日興証券 ● 荒井一郎 ● 高橋勝男 ● ビューティーサロンモード ● 千蔵工業(株) ● 奥村税務会計事務所奥村正 ● 塩井庸次 ● 北関東総合警備保障(株) ● 高橋税務会計事務所高橋裕樹 ● 国伸総合貿易(有)神戶俊輔 ● 銀座齋藤千代子 ● パークラック柿沼典克 ● 廻谷賢二 ● 割烹吉本 ● 田舎料理水月柿沼英雄 ● (有)齋藤石材店齋藤充 ● (株)五光宇都宮店 ● (株)博報社高山仁 ● 冨塚メデイカルクリニック冨塚浩 ● (株)テクニカルワーク矢野隆昭 ● 中山剛夫 ● あら玉 ● (株)栃放エンタープライズ ● 後藤孝子 ● 割烹柏 ● (有)堺屋商店 ● 宇都宮オリオン通り商店街振興組合 ● ゆたか陶器 ● (有)シルバー大橋敦司 ● 長谷川時計店 ● (株)丸美屋 ● 関一夫 ● (株)ラッキー商会 ● 菱沼薬局 ● 藤井昌一 ● ミドリ薬局猪瀬和人 ● (株)タカモリ高山功紀 ● (株)エイセイ塗装工業 ● 大谷和気保険事務所和気理絵子 ● (有)ラ・ドリーム ● ハマダ交通株式会社 ● 時計・宝石タケカワ ● (株)足利銀行宇都宮支店 ● フタバ食品(株) ● 医療法人至誠会滝澤病院 鳥山信用金庫 ● (株)家具の上野 ● (有)シンガイ写真館 ● 栃木信用金庫 ● (有)長瀬文具店 ● (有)長岡工業 ● 宇都宮グランドホテル ● 稲葉勉法律事務所 ● (有)ラッキーデザイン ● あいおいニッセイ同和損害保険(株)栃木支店 ● 三栄不動産(株) ● 勝田亨 ● 鈴木久子 ● 片寄トヨ照井栄子 ● 鈴木洋子 ● 増田安雄 ● 池田節子 ● (有)板倉美容院板倉富子 ● 森ミサ子 ● ユーユーワールド ● (株)キクヤ ● 斎藤商事(株) ● 銘茶関口園 ● (株)バルコ宇都宮店 ● 協同組合宇都宮餃子会 ● 宇都宮みんみん ● 榊屋グループ 榊屋不動産株式会社 ● 野沢秀熙 ● 医療法人中山会宇都宮記念病院 ● 黒崎歯科医院 ● パブ秀佐々木秀子 ● (有)鳥居薬局 ● ホテル・ニューイタヤ ● (有)佐野孝商店 ● (株)堀井 ● (有)丸伊呉服店 ● 税理士倉井章事務所 ● (株)福田屋呉服店 ● (株)新三 ● 新三鈴木淑子 ● すずき歯科鈴木英雄 ● (株)池田亀次郎商店 ● 山二クリニング(有)上野裕司 ● 古宮酸素(株) ● (株)町田建塗工業 ● (株)須山液化ガス ● アクアインボッカ ● ナオミオオガキ ● (有)ル・プラン ● 居酒屋京屋 ● (株)オートワクリエーション ● 金井会計事務所 ● デザイノアルグレイ田代暢雄 ● (株)藤井鋼業藤井康夫 ● (有)サンエイ通信三品隆雄 ● 中国料理虎前田賢司 ● (株)高崎工務店高崎英雄 ● 明治安田生命保険相互会社宇都宮支社 ● 大津屋ビル(株) ● 青源味噌(株) ● アサヒビール(株)栃木支店 ● 割烹うをのぶ ● (株)魚よし ● 花正 ● (株)虎屋本店 ● (有)仁科権蔵商店 ● (有)オリオン商事 ● (株)井上総合印刷 ● (株)渡辺有規建築企画事務所 ● 渡辺建設(株) ● 東野交通(株) ● 栗田工業(株) ● (株)ダイドー ドリンコサトピス 関東宇都宮営業所 ● (株)とらや弥生 ● (株)ロココ企画装飾 ● 群馬銀行宇都宮支店 ● 秋澤信仁 ● (株)篠崎孝孝商店 ● (株)シノザキ ● (株)コアミ計測機 ● マストー 商事(株) ● (有)松村 ● (株)大貫商店 ● (株)渡清 ● (株)オアシス ● 高林堂 ● 小谷野儀一 ● (株)鱒測建設 ● (株)横倉本店 ● (株)トイーホク ● ホテルサンルート宇都宮 ● 合名会社つちや ● 宇都宮ステーションホテル ● (有)森川衣裳店 ● 宇都宮卸商業団地協同組合 ● (株)竹石紙店 ● (株)辻由 ● 栃木小松フォークリフト(株) ● リコージャパン(株) ● (株)増測組 ● 宇都宮商工会議所 ● (株)宮本印刷 ● 小花塗装(株) ● タカココーポ高工正三 ● 割烹中村 ● (有)アサヒ商事 ● (株)三和青果 ● おでんのんき ● カフェドオリーフ ● (株)関口代表取締役会長関口快流

(有)福勝不動産 ● (有)鈴木電気 ● 明花商事 ● 関根則次公認会計士事務所 ● 合資会社花久 ● 福田勝美 ● (有)福田

(平成30年4月10日現在)

# 二荒山神社氏子町会

※自治会は省略させていただきます

## 上町

- 旭町湖南 ● 旭町二丁目中央 ● 伊賀町北部 ● 池上町 ● 泉町一・一
- 条町二丁目 ● 一条三丁目 ● 一条四丁目 ● 歌橋町 ● 江野町 ● 和尚塚南部
- 和尚塚二丁目 ● 小幡町東部 ● 小幡町西部 ● 小幡町北部 ● 小幡町南部
- 河原町 ● 北一の沢亀鶴荘 ● 清住町 ● 小伝馬町 ● 寿町 ● 幸町 ● 境町 ● 桜
- 通り ● 桜大谷通り ● 桜東 ● 桜二丁目 ● 西原西組 ● 三条町北部 ● 三条町
- 南部 ● 三条町もみじ通り ● 材木町通り協和会 ● 材木町中央 ● 材木町五
- 番 ● 昭和通り ● 新川 ● 新石町 ● 杉原尾上町 ● 住吉陽西通り ● 滝谷町 ●
- 滝谷町東部 ● 滝谷町巽 ● 大寛一丁目 ● 大寛二丁目 ● 大寛三丁目北部 ●
- 大寛三丁目南部 ● 大黒町 ● 中央北部 ● 中央二丁目中部 ● 鉄砲町 ● 伝馬
- 町 ● 戸祭西部 ● 戸祭二丁目 ● 戸祭元町 ● 戸祭地区四丁目 ● 中戸祭一区
- 中戸祭二区 ● 錦町一丁目 ● 二里山 ● 二条町北部 ● 西塙田北部 ● 西原
- 川向 ● 西原佐野街道 ● 西原十三町 ● 西原太子町 ● 西原仲町 ● 吉野町 ●
- 西原本町 ● 西原末広町 ● 西原六道町 ● 西大寛中組 ● 西大寛本町 ● 熱木
- 親交会 ● 花園西部 ● 花房本町 ● 花房一丁目 ● 西塙田本通り ● 馬場町 ●
- 挽路睦会 ● 不動前三丁目睦会 ● 蓬萊町 ● 星が丘川西 ● 曲師町 ● 松原 ●
- 松原通り ● 松原一丁目東部 ● 松が峰 ● 操町北部 ● 南伊賀町 ● 南新町上
- 組 ● 南新町下組 ● 宮園町 ● 茂登町 ● 陽南東部 ● 四条町上組 ● 四条町上
- 組中部 ● 四条町南部 ● 星が丘西部 ● 本郷睦会 ● 下戸祭一丁目 ● 下戸祭
- 二丁目 ● 戸祭町

## 下町

- 相生町 ● 旭三の丸 ● 本丸西部 ● 旭南 ● 旭町一丁目北部 ● 旭町本丸 ●
- 旭二南館 ● 今小路 ● 今泉町 ● 大町 ● 扇町 ● 大管二区 ● 大管三区 ● 大管
- 西町 ● 小門町 ● 押切町 ● 小田町 ● 御蔵町 ● 川向一丁目 ● 川向二丁目 ●
- 川向三丁目 ● 川向四丁目 ● 川向五丁目 ● 川向六丁目 ● 上河原 ● 河原町
- 亀井が丘 ● 旭栄町 ● 石町 ● 小袋町 ● 宿郷町一丁目 ● 宿郷町二丁目 ● 宿
- 郷町三丁目 ● 宿郷町四丁目 ● 宿郷町五丁目 ● 宿郷町六丁目 ● 宿郷町八日
- 市場 ● 下河原町 ● 清水町 ● 新宿町 ● 千手町 ● 大工町 ● 二の丸(中央三
- 丁目) ● 寺町 ● 天神町 ● 中河原町 ● 中河原一丁目 ● 中塙田 ● 八幡山 ●
- 塙田百目鬼 ● 東塙田一区 ● 東塙田二区 ● 塙田三区 ● 東塙田四区 ● 東塙
- 田五区 ● 東塙田六区 ● 東塙田七区 ● 平松町 ● 日野町 ● 二荒町 ● 築瀬一
- 丸東部 ● 峰第一 ● 峰町三区 ● 宮島町 ● 宮町(一区) ● 元石町 ● 築瀬二
- 丁目上組 ● 築瀬旭陵通り ● 築瀬三丁目 ● 築瀬四丁目 ● 築瀬五丁目東 ●
- 築瀬五丁目西 ● 築瀬六丁目 ● 築瀬七丁目東

## 平成29年度 二荒山神社渡御祭礼会計

| 歳入の部       |           | 歳出の部    |           |
|------------|-----------|---------|-----------|
| 科目         | 金額(円)     | 項目      | 金額(円)     |
| 氏子町会奉納金    | 2,271,440 | 天王祭祭礼費  | 1,757,144 |
| 祭礼協賛金      | 2,800,000 | 菊水祭祭礼費  | 2,366,147 |
| 神社補助金      | 2,700,000 | 冬春渡祭祭礼費 | 1,130,728 |
| 雑収入        | 120,008   | 事務費     | 267,715   |
| 繰越金(前年度より) | 1,338,860 | 雑費      | 1,801,915 |
| 合計         | 9,230,308 | 合計      | 7,323,649 |

## 平成29年度 渡御祭礼報告

|              |          |                        |
|--------------|----------|------------------------|
| <b>天王祭</b>   | 祭典期間     | 7月15日(土)~20日(木) 6日間    |
|              | 親子神輿対面神事 | 7月15日(土) 参加27町会 神輿28基  |
|              | 須賀神輿渡御   | 7月16日(日) 上町一下町         |
| <b>菊水祭</b>   | 鳳輦渡御及び   | 10月28日(土) 上町(雨天の為切り上げ) |
|              | 流籠馬神事    | 10月29日(日) 下町(雨天の為中止)   |
| <b>おたりのや</b> | 冬渡祭神輿渡御  | 平成29年12月15日(金) 下町一上町   |
|              | 春渡祭神輿渡御  | 平成30年 1月15日(月) 上町一下町   |



## 株式会社とらや弥生

### お客様が笑顔になれる菓子を

2009年3月に、この地に創業。開店当初からの看板菓子「黒糖さぶれ」や「たってる生どら」などが、幅広い年齢層に人気を博しています。「お客様に笑顔になっていただけるようなお菓子を作っていきたいですね」と、笑顔で語る柿沼社長。手土産やギフトにも最適なお菓子が並ぶ明るい店内は、訪れるだけで笑顔になってしまいます。「黒糖さぶれ」をはじめとする定番の焼き菓子のほか、四季の移ろいを見事に表現した上生菓子は、その意匠や名前にも和の心を感じさせてくれます。京都の名店「末富」で磨いた柿沼社長の技が光ります。また、二荒山神社にちなんだ「二荒の山」や「いちのみや」などの菓子も贈答用に好評です。



▲「見て食べて笑顔になっていただけるお菓子を作ります」と柿沼社長

かつてユニオン通りにあった菓子店が柿沼社長の生家。「二荒山神社様には、祖父の代、私が子どもの頃から、お世話になっています。現在も御神菓を納めさせていただいています」

桜の便りが届くなか、とらや弥生は9年目の春を迎えました。

桜の便りが届くなか、とらや弥生は9年目の春を迎えました。

住所 宇都宮市下岡本町 2130-5  
TEL 028-666-0530  
FAX 028-666-0530  
HP <http://www.toraya-yayoi.com>

## 株式会社渡清

### 栃木県産食肉のブランド力を高める立役者

「昭和9年の元旦、日野町、現在の二荒町に創業しました。子どもの頃から二荒山神社周辺や、仲見世の東の招魂社(小さな丘があり、現在の下之宮の所)が遊び場でした。現在も日野町通りに店舗・住まいがあります」と懐かしそうに笑顔で語る2代目社長、渡邊秀夫氏。

(株)渡清は、市内東宿郷の本社・工場を拠点に、県内一円のレストランやホテルなどを対象に食肉及び食肉加工品を卸しています。また近年はインターネットによる受注も増大。販路は全国に拡大しています。そして昨年、同社の熟成肉「とちぎ霧降高原牛」が、国際味覚審査機構(iTQi、本部・ベルギー)の最高位である優秀味覚賞三つ星を受賞。交雑牛では国内初の快挙です。すぐれた素材に独自の技術で大きな付加価値を与えてブランド力を高めることに成功しました。「二荒山神社は日々の暮らしや商売など御守護頂いています。また節分の厄難消除祈禱講祭の理事も務めさせていただいています」



▲「これからも、他にないモノ、ないコトに挑戦していきます」と、渡邊社長

住所 宇都宮市東宿郷 5-6-6  
TEL 028-634-3474  
FAX 028-633-8921

## 桜大谷通り自治会

現在 357 世帯を擁する桜大谷通り自治会。「昔は、この通りを大谷石を運ぶトロッコが走っていたそうですよ」と話す松本さんは、生家も現在の場所。一昨年に会長に就任して、日々奮闘しています。「先代の方からそのまま受け継いだので、まだ慣れない部分もあるけれど皆さんにご協力いただきながら頑張っています」松本さんは、自治会会長とともに二荒山神社の氏子総代も務めています。おたりや、天王祭、菊水祭と神社の祭礼のほか、宮まつりには神輿を繰り出し、町内挙げて祭に参加します。また、地元桜小学校の下校時の見守り隊も務める多忙な日々。さらに、自治会とは別組織の「桜寿会」にも奥様とともに参加。桜美公園の清掃などのほか、お茶会、太極拳などの催しを楽しんでいます。



▲桜大谷通り自治会会長 松本 功さん

## 大町自治会

大通りのすぐ南を走る大町通りは、かつて問屋町として賑わいをみせていた界隈です。「この通りは旧奥州街道の跡で、昔は大膳町とよばれ、大膳市が立つ賑やかな所だったようです」と語るのは、大町自治会会長の池田正夫さん。就任して3年目ながら、これまでも長らく監事として自治会の運営を支えてきました。「現在は35世帯ほどですが、毎年、冬渡祭、春渡祭、天王祭や菊水祭には会所を設置し、また宮まつりには神輿を繰り出して町内一丸となって盛りたてています」と話す池田さん。その言葉には歴史ある町会としての誇りが感じられます。また、大町通りにある史跡「おしどり塚」にちなんで毎年開催する「おしどり塚祭」は、子どもたちにも好評で、世代を越えた交流の場となっています。



▲大町自治会会長 池田正夫さん

うつのみや

町会じまん

Vol.5

### ご当地おみくじ登場！

宇都宮といえば、大谷石、ジャズ、カクテルと色々ありますが、まず餃子が思いあたるのではないのでしょうか？

当社も宇都宮の街の歴史と共に発展してきた神社として、街の活性化を応援しようと試行錯誤を重ね本年始めに「餃子おみくじ」が完成致しました。

餃子の皮の中には健康、学業、恋愛成就など5種類の願意の縁起物が含まれています。

デザインは当社巫女が考案と力作となっています。



幸せ包む餃子の形のおみくじ一番人気！  
大好評です！！



### 【編集後記】

社報「明神さま」5号も無事発刊することができました。誠にありがとうございます。これもひとえに氏子、崇敬者の皆様方のお蔭と存じます。

皆様方と宇都宮の地を盛り上げようと、当社では餃子みくじなどを始めました。

これからも、社報共々温かくお見守りいただきますようお願い申し上げます。

また、年間の渡御祭を始め神社行事に御理解御協力を頂いておりますこと重ねて感謝申し上げます。

### 日供祭 ーにつくさいー

日供祭は、毎朝神様に神饌（お食事）をおそなえし、1日の平安をお祈りするお祭りです。事前のお申し込みは不要で、どなたでもご自由にお参りしていただけます。早朝参拝をして、すがすがしい気持ちでよい1日をお過ごしください。



- 【時間】 毎日午前6時より約20分間  
※月次祭（毎月1日、19日）及恒例祭典日を除く。
- 【場所】 社殿（拝殿西側のご祈禱昇殿口からご昇殿下さい）
- 【見学】 徳川家康奉納の「擬宝珠」を見学できます。  
※DCキャンペーン期間の6月30日まで擬宝珠の観覧ができます。
- 【手水】 ご昇殿の前には手水を行ってください。



「御朱印」・「おみくじ」などは、午前9時より午後4時です。

### うつのみやの伝説 ー樋爪氏の墓ー

#### 頼朝に祈願成就のお礼として捧げられた、親子の物語

JR宇都宮駅の近くに、三峰山神社という神社があります。その社内に2つ並んで立っている五輪塔は「樋爪氏の墓」（宇都宮市有形文化財）と呼ばれています。

文治5年（1189）に源頼朝が奥州藤原氏征伐に立出する時、宇都宮大明神（二荒山神社）に奉幣し戦勝を祈願しました。そのかいあって藤原氏を滅ぼした頼朝は、凱旋の帰り道に祈願成就の御礼として再び参詣しました。その際に捕虜であった樋爪季衡、経衡親子を神に捧げ、季衡は当社の神人になったと伝えられています。樋爪塚はこの2人を祀ったものと伝えられています（樋爪俊衡と弟の季衡という説もあります）。

別の伝説では、2人は頼朝の軍から逃れ上河原まで来たもののついに捕まり、命を絶たれたと言います。その際に打たれた首が博労町（現在の大通り5丁目付近）に飛んだので、それを祀ったのが今の墓だということです。墓の回りには南天が植えられ、その葉をとると盲目になると言われています。



▲樋爪親子を祀った五輪塔のある三峰山神社

神社のホームページでは、お問い合わせの多い、ご祈禱やお焚き上げに関する情報をご確認いただけます。また年2回発行の社報のバックナンバーもご覧いただけますのでご利用下さい。



宇都宮二荒山神社

スマートフォンなどでもご覧いただけます。

検索

